

## 一期一会

カウンセリングマインド講座にきていたYさんは自分の感情に興味をもち始めていた。時に激しく自分をゆさぶるものはどこからきて、何に向うのか・・・漠然とだけれど気になっていった。

そんな時、中3の息子が卒業の記念アルバムを学校からもらってきた。どれ、どれと、息子の姿をさがしていたYさんは、むらむらと怒りが沸き起こるのを感じた。集合写真には写っているものの、スナップ写真には息子の姿は全くないのである。

「あなたが写っていないなら、見ても意味ないよ」Yさんは怒りをぶつけた。

「ほく、写されるのがきらいなんだ」

「アルバムは一生ものでしょ。なぜ自分をアピールしないの!」

ヒステリックに怒っている自分に気づきYさんははっとした。

息子の姿がなくてがっかりしたただけなのに、何故息子に怒っているのだろうか?

「ごめんね。あなたが写ってなくてがっかりしただけなのに、何も悪くないあなたを怒ってしまったって、ほんとにごめん!」

それを聞いていた息子はにっこりして、指を二本立てて言った。

「ほくこれからは、いっぱい写るからね! お母さんを喜ばせるために!」

(蝶)